

平成29年度当初予算の内容② 《スクラップ編》



オレンジの「今」と「将来」のための
ビルト事業の説明に続いて、「財政の健全性」の確保について説明するで！

確かにビルト（新事業の実施、既存事業の充実）
とスクラップ（既存事業の見直し）はセット
だったよね！



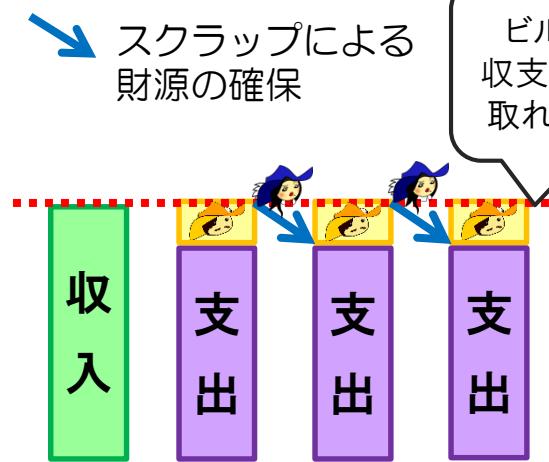
そのとおり！**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）で新たな財源が必要になる分、**スクラップ**（既存事業の見直し）で財源を確保しないと支出だけが増えてしまって「**財政の健全性**」を確保できなくなってしまう。



◎ビルトだけだと…



◎ビルトとスクラップがセットなら…



左の図みたいに、**ビルト**だけやと収入以上に支出することになって財源が不足するけど、右の図みたいに、一緒に**スクラップ**することで市民サービスの充実を図りながら、収支のバランスを取ることもできるねん。



ってことは、平成29年度予算を編成するときにも**スクラップ**に取り組んだってことね！



既存の事業を見直すことは、時代に適したものになるよう行政サービスを活性化させることにもつながるから、とてもいいことなんだよ。



ほな、平成29年度の予算編成で取り組んだ内容を紹介するで！



まずははじめに、スクラップ言うても、
こんなふうにいろんな方法があるねん。

スクラップによる財源の確保

サービスの再編

サービスの実施方法の工夫

サービスの効率的な実施・精査

歳入の確保

単純にサービスを止めてしまう
だけじゃないのよね。





平成29年度予算編成でも、多くの
スクラップに取り組んでるで。

例えば、「**サービスの実施方法の工夫**」として、生活困窮者自立支援制度に関する国の補助金をうまく活用して事業を充実させたり（220万円減）、新システムの導入に伴ってネットワーク機器の効率化を図ったり（786万円減）、学校用のインターネット回線の見直しを行ったり（754万円減）してん。



すごい！制度や仕組みを上手に使って工夫すれば、こんなにもコストが削減できるんだね♪





次は「サービスの効率的な実施・精査」。これは、普段からサービスの効率化を意識したり、必要性を検証したりしながら業務に取り組んだ結果、経費の見直しにつながったものが多いねん。

平成29年度は、低圧施設の電力需給契約に関する入札の実施（472万円減）や、ごみ処理施設及びし尿処理施設の運転保全整備業務委託の効率化（1,000万円減）などがあるで。



地方公共団体は「最少の経費で最大の効果」を發揮しなくちゃいけないから、サービスの効率化や精査は欠かせないね！





最後は歳入の確保。

サービスを見直して支出（歳出）を抑制するだけではなく、収入（歳入）を増やして財源を確保しようっていう方法やで。



自動販売機の新規設置（26万円増）のほか、これまで広告料（窓口封筒、広報誌、市民課ロビー等設置モニターでの広告掲載料）の確保などにも積極的に取り組んできてるねんで！

どの自治体も人口減少等による税収減に備えて工夫を凝らしているのね！





「財政の健全性」の確保の方法には、
ビルド＆スクラップの実践のほかにも、
ハード事業の適切な選択による市債発行
(借金) の抑制があるんだよ。
市債の発行には、将来世代にその償還費用
を負担してもらうという側面もあるからね。

まちの持続的発展の実現

幸せあふれる
未来へとつなぐ
「今」必要な
サービスの充実

魅力ある快適な
まちへとつながる
「将来」への
まちづくり

行政の使命

メリハリある
ビルド＆スクラップの実践

ハード事業の適切な選択
による市債発行の抑制

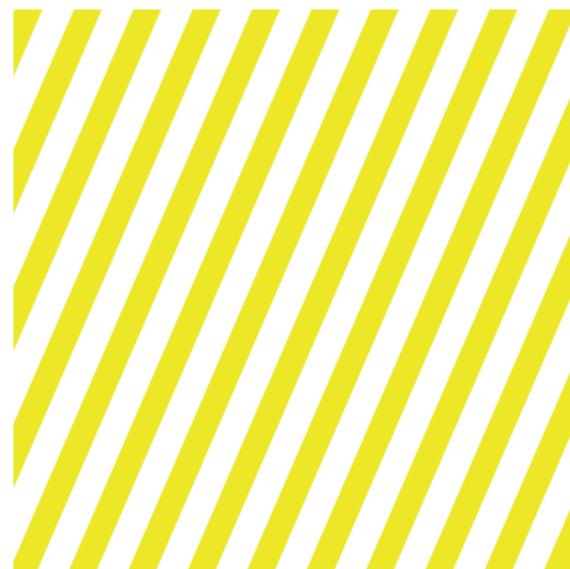
「財政の健全性」の確保

歳出抑制と歳入確保、
将来負担の適正化に
よって、健全な財政を
確保しているのね！



平成29年度も「財政
の健全性」を確保し
て「次なる茨木」に
向かっていこう！

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

